

授業紹介 < 絵・彫・デ・**工**・映・他 >

学校名 <p style="text-align: center;">高知県立春野高等学校</p>	工芸担当者 <p style="text-align: center;">田村 美紀子</p>	
題材名 工芸Ⅰ「合成樹脂でつくるペーパーウェイト」1年 クラフトデザインⅡ 「合成樹脂でつくるペーパーウェイト」3年	対象学年 1年 3年	受講生徒数 40人(20人×2) 12人
	実施科目 工芸Ⅰ クラフトデザインⅡ	総授業数 1年 16時間 3年 14時間
題材に使用した素材、画材 <ul style="list-style-type: none"> ・不飽和ポリエステル樹脂(1年)、封入用樹脂(3年) ・アクリル塗料(1年)、樹脂カラー(3年) ・封入物(樹脂粘土で作成もしくは生徒私物持参) ・硬化剤 ・油土 	作品の大きさ 手の中に収まること	領域 工芸
題材のねらいと解説 <ul style="list-style-type: none"> ・『用(=ペーパーウェイトとして使いやすい形)』と『美(=形体や封入物を工夫したり、ピカピカに磨く)』を兼ね備えた作品を制作することを目標とする。 ・磨くという工程では根気強く作品を仕上げ、完成させる喜びや感動を知るとともに、物をつくる課程には多くに時間と労力がかかっていることを知る。 ・合成樹脂(プラスチック)は現代生活に欠かせないものでありながら、生徒自身で加工したことはないと思われる。この題材を通してプラスチックの性質を知るとともに、環境問題や現代社会とプラスチックとの係わり方について考えるきっかけになって欲しい。 		
指導略案 <ol style="list-style-type: none"> ①ペーパーウェイトの説明とポリエステル樹脂の特質の説明 ②どんな形にしたいか考え、油土で型を作る。 ③樹脂を流し込む。 ④樹脂粘土で封入物を作る。もしくは好きなものを持参する。 ⑤封入物を入れ、2層目、3層目と樹脂を流し入れる。 ⑥油土から樹脂を外す。 ⑦磨く。(耐水ペーパー → ピカール) 		
指導上配慮したこと <ul style="list-style-type: none"> ・ポリエステル樹脂や硬化剤、塗料の扱い方を十分注意する。 ・油土で型を作る時点で、ツルツルにしないと硬化した樹脂を磨く作業が大変になるということを説明。 ・樹脂を流し入れ、硬化する間に封入物を作る、など空き時間ができないよう配慮。 ・封入物の位置と向きに気を付ける。 ・色を付ける場合も一層目は透明の方がきれい。 ・耐水ペーパーで磨くとき、粗いものから順番に。(とばして急に細かくしない) 		

【 工芸Ⅰ 】



材料と道具



授業作品



【 クラフトデザインⅡ 】



材料と道具



着色見本

透明度の違い



工芸Ⅰ
(黄色っぽい)



クラフトデザインⅡ
(青っぽい)